



上尾ロータリークラブ



2013-14年度R.I.テーマ
ロータリーを 実践し みんなに 豊かな人生を



関口 和夫会長

第2505回 例会 会長あいさつ

2013.8.29

週報 No.1969
発行 2013年9月5日

会長 関口 和夫
幹事 齋藤 哲雄
副会長 齋藤 博重
副幹事 久保田 勲
編集責任者
クラブ広報委員長 野瀬 将正

皆さん、こんにちは。会長挨拶をさせていただきます。会務では8月10日に、埼玉県民健康センターで管理運営部門セミナーに久保田副幹事と出席しました。内容については、セミナー報告でさせていただきます。

今日は、趣味の話をしたと思います。元々ライブが好きで、年に何回か出かけています。今回は27日の火曜日に戸田市文化会館に山下達郎のコンサートに行ってきました。日頃ロータリーのセミナーで、よく行くホールです。このコンサートには、因縁があって25年前に行こうとしてキャンセルになった場所です。今回も、25年前もツアーの初日でした。25年前は、結局チケットは買わず、宇都宮文化会館に行きました。息子が1歳でまだオムツをしていて、話の途中で声をだして、山下達郎に「子供はいいタイミングで声を掛けるね」と言われたことを、思い出します。今回は、25年から30年前の曲を聴くことが出来て充実した時間を過ごすことができました。ツアーの初日によく市川市文化会館が選ばれたり、戸田市文化会館が選ばれるのはホールの定員が少なく、観客の反応も分かりやすいこともあるのではと思います。

ホールの定員について、調べてみました。戸田市文化会館1,210名、市川市文化会館1,945名、宇都宮文化会館2,000名でした。上尾市文化センター1,050名、大宮ソニックシティホール2,505名、川口リリア2,002名、さいたま市文化センター2,006名、越谷市サンシティホール1,675名、春日部市民文化会館1,500名、クレア鴻巣1,292名、川越市民会館1,261名、草加市文化会館1,198名、桶川市民ホール700名でした。各ホールとも独自の企画を、色々行っているようでした。私見としては、定員1,200名が有名タレントの公演の目安の様に思います。

その中で、草加市文化会館でこれから行われる国際ハーブフェスティバルは、素晴らしい企画だと思いました。草加市なのでハーブではないかと思いがちですが、音楽のハーブの演奏、コンテストでした。昨年、地区大会があった日に夜に行ってみました。音楽を楽しめました。ご興味のある方はホームページをご覧ください。以上をもちまして、会長挨拶とさせていただきます。本日も、よろしくお願ひします。

- 9月12日 管理運営部門、広報部門
セミナー報告
- 9月19日 卓話 地区
青少年交換委員会
- 9月26日 北本ロータリークラブ
合同例会
(時間変更)

AGEO ROTARY CLUB

幹事報告

齋藤哲雄幹事



皆さんこんばんは。幹事報告させていただきます。

◆8月22日に行われた上平公園の早朝例会は、南駐車場で行われるはずであったラジオ体操が、車止めの都合から、急遽、北駐車場に移させていただきました。もし遅く来られて場所がわからなかった方がいらっしゃいましたらお詫び申し上げます。

◆本日『ロータリーの友』と『ガバナー月信』が配布されております。『ガバナー月信』の表紙には大塚パストガバナーと尾花パスト会長のお写真も載っております。そして26ページには、パレスホテル大宮で行われた当クラブの50周年の記念式典の写真も掲載されております。

◆8月8日、例会終了後、理事会が行われ、審議事項だった9月の行事予定を承認させていただきました。9月の第4例会の夜間例会は、北本ロータリークラブさんとの合同例会になります。当会場で行われるのですが、例会前にポリオ撲滅のPRのために募金活動を上尾駅で行うことを承認させていただきました。時間は17:30からになります。多くの皆様方のご協力をお願い申し上げます。

◆理事会の協議事項といたしまして、10月の行事予定と会員旅行の件を承認させていただきました。会員旅行は当初、10月26・27日という日程で年度計画表には掲載させていただきましたが、旅行先が伊勢神宮の参拝ということで、日-月曜の方がより多

くの所を見られるという観点から日程を27日(日)・28日(月)ということになりました。

◆8月20日、第5グループの会長幹事会が当東武パンケットホールで行われました。内容は地区大会でのポリオ撲滅記念ゴルフコンペ、日韓親善会議のご案内、RLIのPart 1の出欠についてと地区大会のイベントについてです。ゴルフコンペの参加人数が少ないため再度各クラブに参加依頼をお願いします。今年の地区大会は11月9日(土)・10日(日)に開催予定ですが、「お祭り形式」で行います。第5グループから催し物があれば、と依頼されて、星野ガバナー補佐が草案を作っているということです。

◆8月31日(土)、広報部門セミナーは関口会長と野瀬広報委員長が出席予定です。

◆9月16日(月・祝)、RLIのPart 1は私齋藤と久保田副幹事が参加予定です。

◆50周年記念関連で9月8日(日)、鴨川小学校に於いてスポーツ少年団のバレーボール大会がございます。こちらは50周年記念の冠をつきさせていただきますので、お時間のある会員の方はご参加いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

米山功労者表彰

大塚信郎会員



★トピックス★

第2504回例会(早朝例会) 於:上平公園 爽やかな朝の空気の中、ラジオ体操を行いました。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。



AGEO ROTARY CLUB

卓話

大塚崇行会員



皆様改めましてこんばんは。本日は卓話の機会を与えて頂きましてありがとうございます。全国優良石材店の会で進んでいる、被災地復興「津波記憶石プロジェクト」のお話をさせていただきます。

(株)大塚の小冊子『宛』(毎年8月に25,000冊発行 お客様20,000名に配布)の対談企画「この人に会いたい」で、今年はエベレスト登頂成功で世界的なニュースになった三浦雄一郎さんに、登山前にインタビューさせていただいて、非常にタイムリーな方を掲載でき、読者にもお喜びいただいていると思っております。昨年は田部井淳子さんで登山家が続いたこととなりますが、11年間続けてきた企画で谷川俊太郎さん、新藤兼人さん、桂歌丸さん、帯津良一さん、村田兆治さん、二葉百合子さん、松島智子さん、立松和平さんなどの方々と対談掲載しております。2012年度版・2013年度版に「津波記憶石プロジェクト」の記載がありますので、本日はこちらを卓話の中心にお話いたします。

震災が起きたのは私が会長年度の2011年3月11日でしたので、このプロジェクトは会長挨拶で何度か話させていただいたことがあり、当時と重複した内容はご了承ください。きっかけとなりましたのはこの3月11日に全優石という会の常任理事会で目黒にいました。午後2時からの会議で、震災が2時46分でしたので、会議が始まって46分で震災になり会議は中止になりました。出席していた常任理事の中に宮城の会員が2名いて家族と連絡が取れず、宮城が震度7という情報しかなくてとても心配でした。2人は宮城に帰るのに苦労して22時間かかったそうです。常任理事会が途中で中止になってしまったので改めて4月22・23日に仙台で開催しようとなり、当日仙台空港に降りたちました。震災後1ヵ月あまりではほとんど空港は使えず一部だけ使用されている状態でした。

全優石の仲間がいた石巻、女川に訪問。宮城の東松島市尾形石材さんの弟の専務さんがお亡くなりになったので、お見舞いに行きました。お線香をあげにいくと遺影が3つ並び、専務さんとお子さん2人、3名が亡くなったということでした。遺影は見覚えのある写真だと思っていたら、震災で亡くなった方は受け取れない「看護師免許の合格証書」について特別な措置で証書を発行し、母親が受け取ったという話題をたまたまテレビ放映されていたのを記憶していて、その方が専務さんのお子さんでした。お母様が私たちに「震災の真実を100年後も200年後も伝えて欲しい。亡くなった多くの人達の為に。同じことが二度とおこらないようにしてほしい」という言葉を残してくださいました。その言葉がきっかけになり石材店だからこそできる復興支援をしようと立ち上がりました。

まず始めたのがお墓の修復・墓地の整備です。ただ、あまり整備をやり過ぎてしまうと地元の方の仕事奪ってしまうことになるので、地元に残しておかないといけないうことで通路の整備などを行いました。義援金を集めるのも一時的な復興支援ですがもっと永続的にできる支援はないかと考えて行ったのが「津波記憶石プロジェクト」です。昔から津波石というのはあって、岩手県宮古姉吉地区に有名な石碑があります。ここには

高き住居は児孫(じそん)の和楽／
想(おも)へ惨禍(さんか)の大津浪／
此処(ここ)より下に家を建てるな／
明治二十九年にも、昭和八年にも津浪は
此処まで来て／
部落は全滅し、生存者僅(わず)かに前に
二人後に四人のみ／
幾歳(いくとし)経るとも要心(ようしん)あれ
と書かれています。この石碑は標高60mに設置されています。今回の津波は標高38.9mまで来ていますので、この石碑から50mの距離まで津波が来たと言っていました。この話をきいて全優石の中の北海道の山崎さんと委員長千葉の秋元さんと私の3人で福島・宮城・岩手に「津波記憶石」を復興支援にしよう

うということになりました。石材店として素晴らしいものを作っていきたくかったのでデザイナーに協力いただき、500キロに500基の「アートでつなぐ500キロの道」という構想を掲げました。一昨年の6月から活動開始。一度建てたら移動しない事、永続的に立ち続けることが前提としたら民間地ではなかなか建てられないので話しが進みませんでした。

そのような中、岩手県釜石市根浜海岸前にある宝来館の女将さんが津波記念碑建設に積極的で、地域と行政側を動かしてここに1号基を建てました。観光資源として見ていただくためにデザインはアートディレクター・浅場克己氏に手がけてもらい、碑文「てんでんこで逃げよ」を刻みました。

第2号基は気仙沼小泉地区小泉小学校駐車場に建てました。市長より依頼され、愛媛県青山石材の大島石を使用、高さ4.5m重さ14トンという巨大な石碑になりました。写真の中心にいるのは間寛平さんです。間さんが東北復興支援マラソンをした時に、

石碑の前で記念撮影をしてくださりました。

第3号基は釜石唐丹という地区で、私がプロジェクトのリーダーを務めました。打合せは公民館、地元の方に説明をして理解を得てから始動。3号基の特徴は、子供達に正面に刻む文字を考えてもらったということです。90名以上のお子さんから応募いただいたのですが、すべて素晴らしい過ぎてとても一つに絞れないということで、全て刻もうと進めていきました。津波の到達点に22本の石柱を建て、地元の子供達に唐丹の石を拾ってもらい鳥に見立てました。このような形で25号基まで建てました。今年、大船渡市綾里駅に、三陸鉄道南リアス線の開通に合わせて26号基を建てました。こちらは日時計になっています。

500基の目標まであと474基ありますが、全優石としてはライフワークとして「津波記憶石プロジェクト」を続けていきます。



大塚崇行会員、卓話ありがとうございました。

出席	会員数	35	出席数	19
欠席	欠席数	16	(%)	54.29
前々回確定	出席数	5		
修正(%)	85.71	(M-U)	5	

スマイル 37,000円

関口会長 齋藤哲雄幹事 久保田副幹事 武重会員 岡野会員 大塚信郎会員 小林会員 富水会員 齋藤重美会員 井上会員 尾花会員 渡邊会員 細野会員 大塚崇行会員 島村会員 須田会員 樋口会員 宇多村会員 古賀会員 長沼会員 齋藤修弘会員

